



国際情報学院中だより

No. 11 令和8年2月27日

教育目標：共生の精神をもち、主体的に力強く生きる人間の育成

校訓：明朗 礼節 進取 自律



高校3年生による合格体験発表会

～身近な先輩の言葉から学ぶ進路への一歩～



2月16日（月）、本校高校3年生による「合格体験発表会」を実施しました。大学進学を決めた5名、就職内定をいただいた4名、計9名の先輩方が中学生に向けて、自らの経験を基に進路実現までの歩みを語ってくれました。

今回発表してくれた9名は、全員が本校中学校からの内進生です。自らの中学校時代を振り返り、「もっと早く取り組んでおけばよかったこと」や「高校で努力してきたこと」など、率直な思いを交えながら、学習への向き合い方や目標をもつことの大切さ、就職に向けて必要となる姿勢について具体的に話してくれました。

特に多くの先輩が口にしていたのは、家庭学習の習慣を中学校時代に確立することの重要性でした。「夢がまだ決まっていなかったら、しっかりと勉強して可能性を広げておくことが大切」という言葉が強く心に残っています。いざ推薦を受けたいと思ったときに、評定平均が足りず挑戦できないという状況はとても悔しいものです。選択肢を広げるためにも、今の積み重ねが将来につながるということを、先輩たちは自らの経験を通して伝えてくれました。

発表後の質疑応答では、中学生から次々と質問が寄せられ、時間いっぱいまで交流が続きました。大人からの助言とはまた違う、同じ学校で学んできた先輩の「生の声」は、より身近で現実味のあるメッセージとして中学生の心に届いたように感じます。

このように、中高一貫校である本校だからこそ実現できる学びの機会は、大きな魅力の一つです。高校入試がない分、目の前の学習に安心して取り組める環境があります。その環境を生かし、「まだ先のこと」と考えるのではなく、高校卒業後の自分の姿を思い描きながら、日々の学習や生活を積み重ねていってほしいと思います。

先輩方の言葉を胸に、それぞれが自分の未来に向けて一歩を踏み出してくれることを期待しています。

<当日の様子>



自らの経験を率直に語り、後輩にエールを送ってくれた高校3年生の皆さん。本当にありがとうございました。



SNOW FESTIVAL

～学級対抗 雪だるまづくり大会～



2月9日（月）、学校中庭において「SNOW FESTIVAL～学級対抗雪だるまづくり大会～」を実施しました。各クラスが協力し、個性あふれる雪だるまづくりに挑戦しました。

今年は例年になく大雪に見舞われ、電車の運休などもあり、どこか気持ちが沈みがちな日々が続いていました。そんな状況を「せっかくの雪、楽しんでしまおう」と前向きにとらえ、本校保健体育科が企画してくれたのが今回の行事です。

連日の雪模様とは打って変わり、この日は晴れ間がのぞき、時折雪も止むなど、まるで生徒たちの活動を後押しするような天候となりました。日頃の行いのよさが表れたのかもしれませんが（笑）。

高さを追求するクラス、大きさで勝負するクラス、美しさやデザインにこだわるクラスなど、それぞれの学級の個性が光る作品が並びました。無邪気に雪と戯れながらも、仲間と声をかけ合い、一つの作品を協力して作り上げる姿からは、学級の絆の深まりが感じられました。

寒さの中、生徒たちの安全に配慮しながら準備・運営にあたり、一日中見守ってくださった保健体育科の2名の先生方に、心より感謝申し上げます。生徒たちにとって、冬の素敵な思い出となる一日になりました。



愛らしい顔とトータルのバランス、その芸術性が高く評価されました。



校長賞
1-2

1年2組



巨大な頭を体に乗せた生徒のパワー、頭上の王冠は、まさに王者の風格です。



教頭賞
3-1

3年1組



大雪への対応と今後の備えについて

3学期開始以降、例年になく大雪の影響により、JR花輪線や奥羽線の運休が相次ぎました。通学に支障が生じる中、保護者の皆様には送迎等に多大なご協力をいただきましたこと、心より感謝申し上げます。

登校が難しい場合の対応として、オンラインで授業を受けたいというご要望も多く寄せられました。学校でも運用を検討いたしましたが、交通機関の復旧の見通しが立ったことから、今年度の実施には至りませんでした。今回の経験を踏まえ、来年度以降、同様の事態が生じた際には柔軟に対応できるよう準備を進めていきたいと思っております。

今後も、生徒の安全と学習機会の確保に努めてまいります。いつも本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

